

**ノリ養殖環境速報 KH-30-12 (播磨灘)** 平成31年2月21日 発行

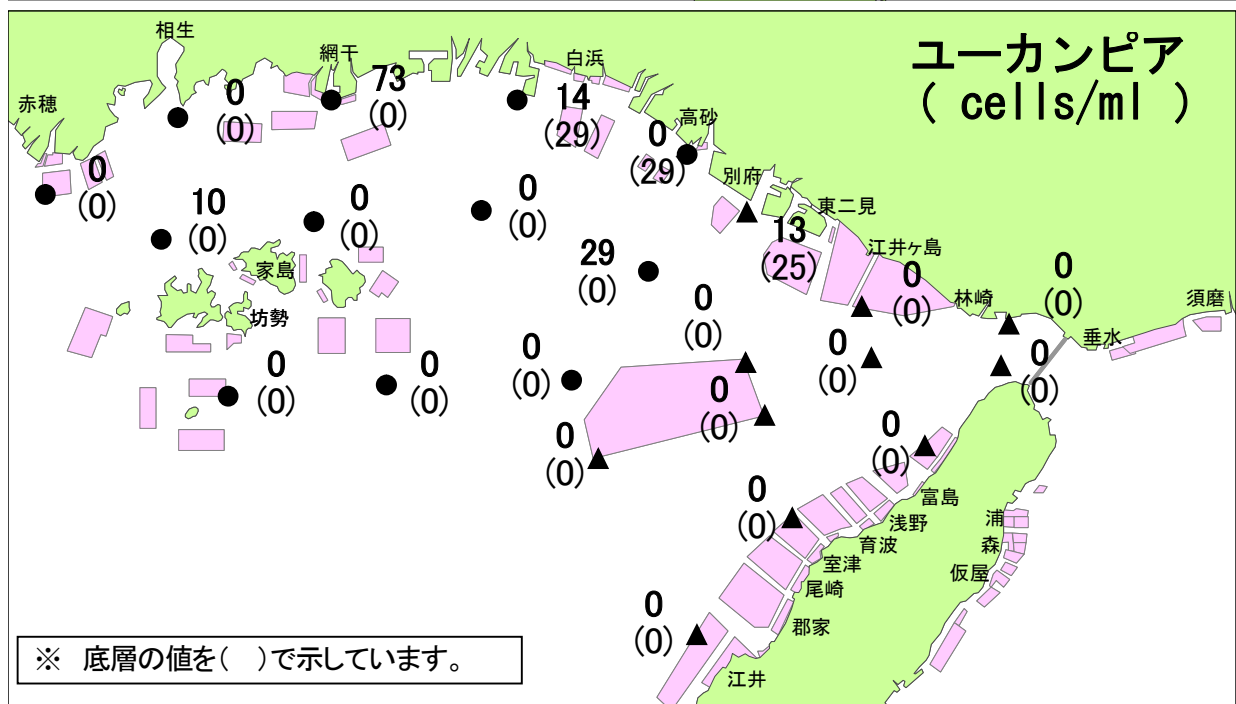
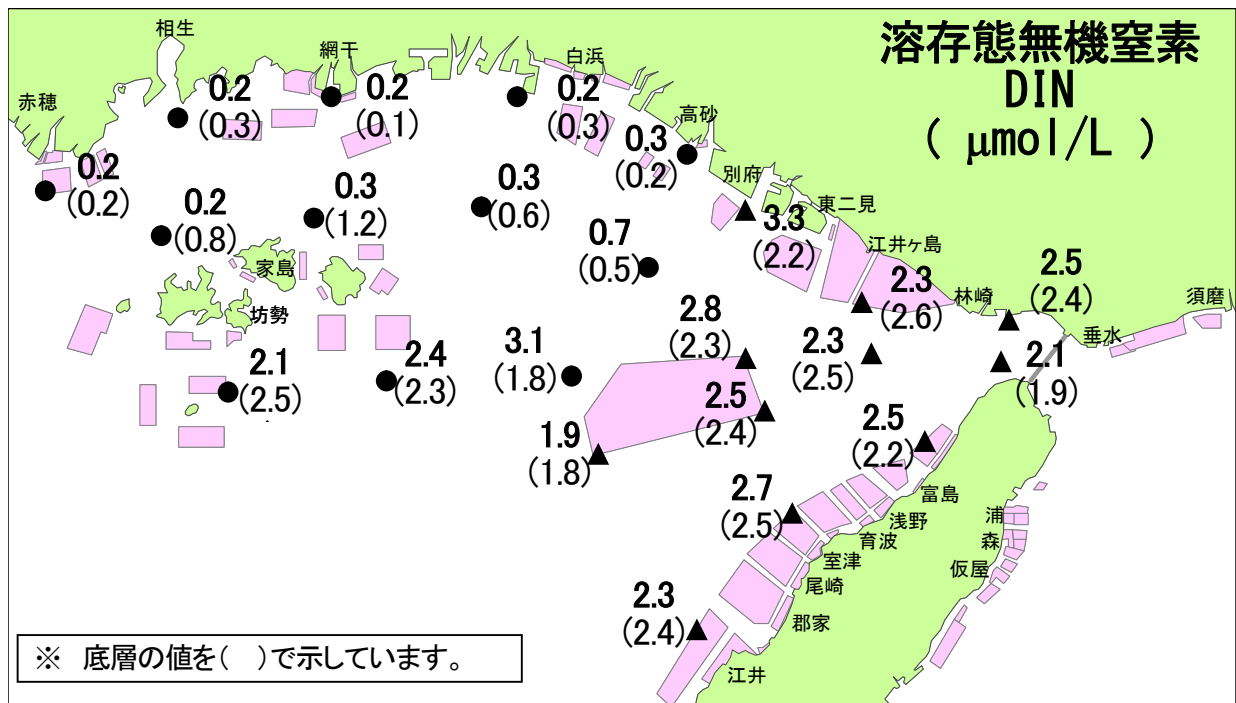
調査年月日：平成31年2月18日～19日

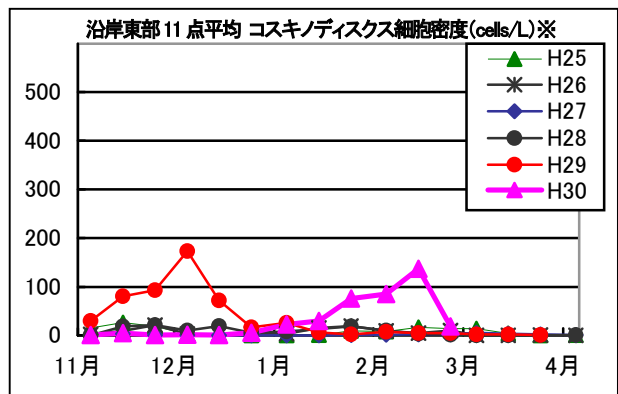
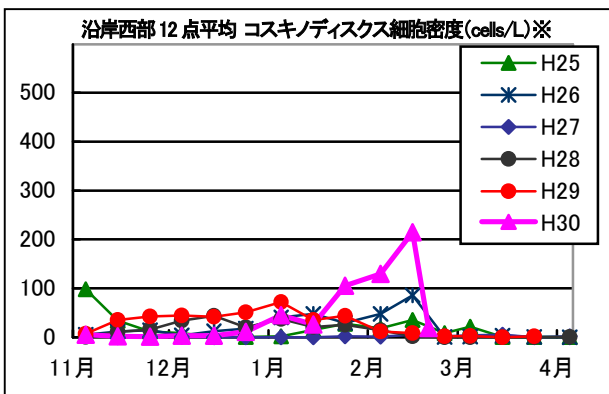
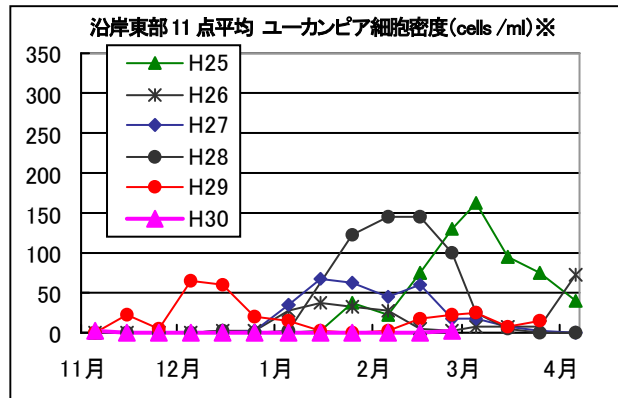
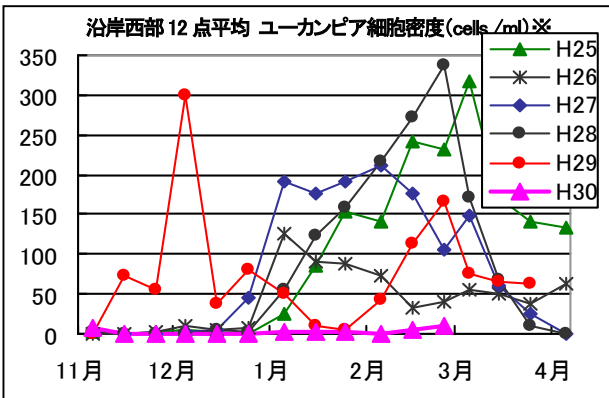
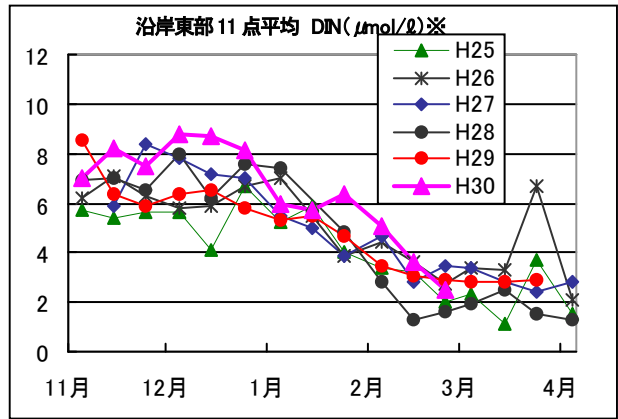
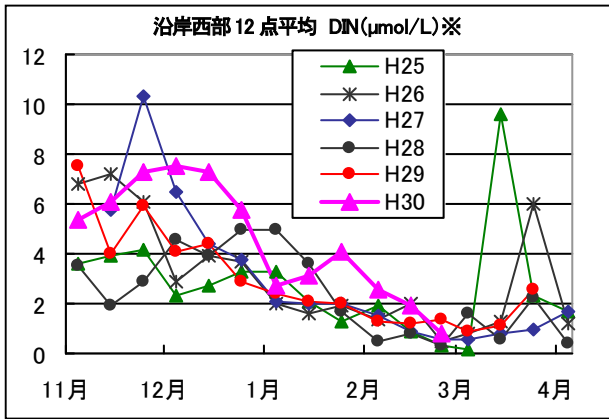
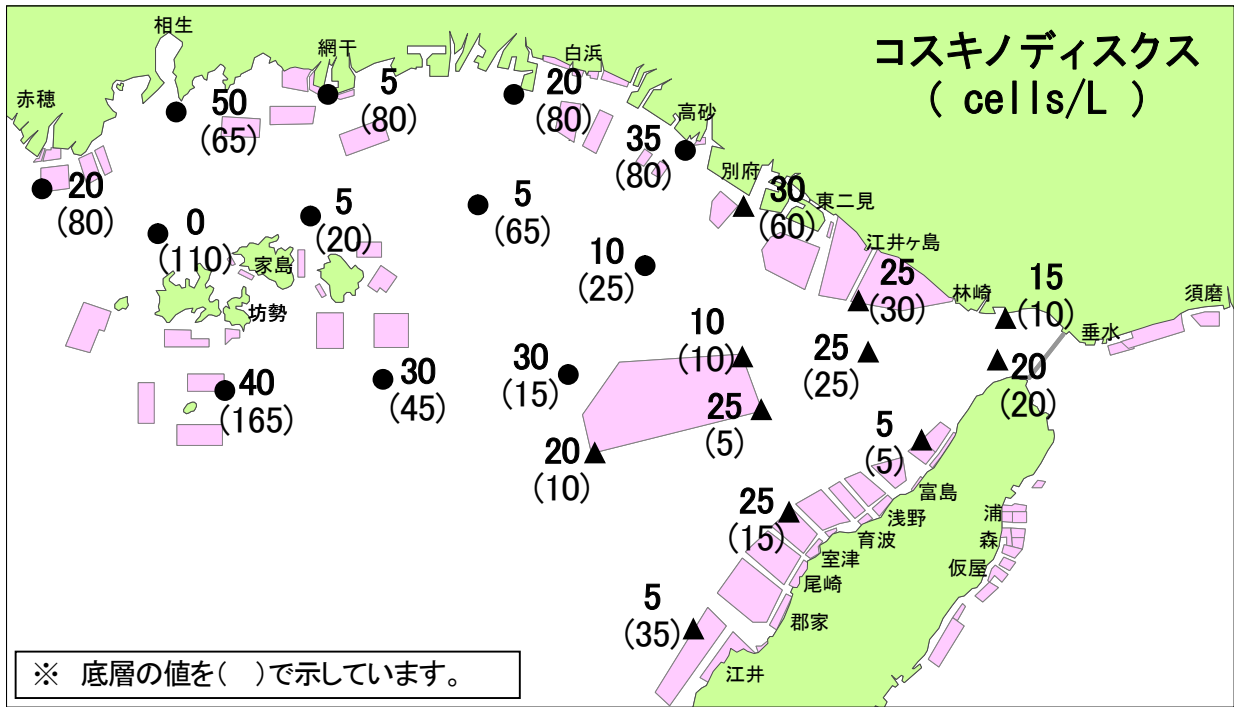
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

**概況** 播磨灘(調査海域)のDIN濃度は、概ね $3\mu\text{mol/L}$ 以下で推移しています。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレーは減少傾向ですが北部全域で確認されています。ユーカンピアの一部の海域で確認されています。

水温は、白浜以西では $8.8\sim 10.7^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では $9.2\sim 10.1^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で $9.9\sim 10.4^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では $10.3\sim 11.1^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では $10.2\sim 10.7^{\circ}\text{C}$ でした。





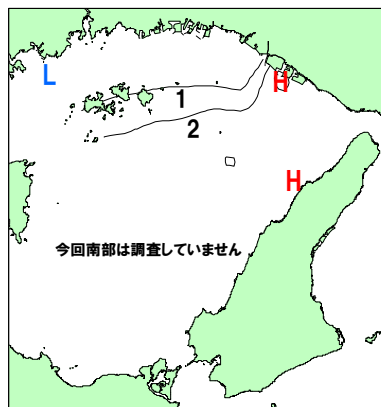
※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

## 平成31年2月18日～19日の水平分布状況(表層、実測値)

溶存態無機窒素濃度(DIN,  $\mu\text{mol/L}$ )

ユーカンピア(cells/ml)

コスキノディスクス(cells/L)



\* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

### 播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部の表層のDIN濃度は、概ね $3\mu\text{mol/L}$ 以下でした。高砂～赤穂沿岸では、 $1\mu\text{mol/L}$ 以下となっています。全体的にコスキノディスクスワイレシーは減少していますが、北西部沿岸海域では小型珪藻のキートセロスが多く発生しています。ユーカンピアは少ないですが、若干増加傾向にありますので今後の動向にはご注意ください。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みとされており、河口域を中心に栄養塩濃度はやや回復する可能性はありますが、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は現状維持程度と考えられます。

### 週間天気予報 気象庁2月20日16時32分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(2/21～2/27)の近畿地方は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、低気圧や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめは雨の降る日があるでしょう。

最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より高く、平年よりかなり高い日がある見込みです。降水量は、平年並でしょう。

### その他の情報

- ・岡山県の調査(2/14)では、牛窓沿岸のDIN濃度(表層)は $2.3\sim 4.1\mu\text{mol/L}$ でした。同海域で大型珪藻のコスキノディスクスは $20\sim 40\text{cells/L}$ 確認され、ユーカンピアは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

### 【今後の予定】

- ・平成31年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- ・次回は平成31年3月4日頃に発行する予定です。
- \*この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。  
<http://www.hyogo-suigi.jp/>